

平成22年7月2日

関係各位様

本宮町商工会
会長 泉 庄治

平成22年度「地域資源∞全国展開プロジェクト（小規模事業者新事業全国展開支援事業）」（全国商工会連合会・日本商工会議所・中小企業庁・経済産業省）の採択事業
世界遺産熊野古道の自然を生かした回遊プラン開発と全国展開事業
「熊野本宮ささまつり」のご案内

平素は本会につきまして、多大なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます

さて、本会といたしまして全国展開事業を取り組んでいるところでありますが、事業発表前のプレとして「熊野本宮ささまつり」を下記のとおり行います。

「熊野本宮ささまつり」は熊野古道・熊野本宮の地のささに音無紙（地元の和紙・熊野本宮ささまつりと記）をさげ、当地を訪れる旅人と土地の人々がともに自然に感謝し短冊をかざります。また参加飲食事業者はささを活用したお料理を提供する予定です。

※湯の峰温泉では湯筒まわりで竹明かりを計画いたしております。

本年はテストケースとし次年度より本格的な事業化、熊野古道の出発であり到着の地として熊野本宮の風物詩をめざしております。

ご支援のほど、よろしく願いいたします。

※世界遺産熊野古道の自然を生かした回遊プラン開発と全国展開事業の事業発表は、近日おこないます。

記

開催期間 7月3日（土）～7月7日（水）

開催内容 参加事業者は店頭等にささに音無紙「熊野本宮ささまつり」と書いて飾ります。参加各所で用意した短冊に、開催期間中にお客様（旅人）などに願い事を書いてもらい飾り付けをいたします。各温泉街での竹灯りや料理にささを活用し、各飲食店などではささを活かしたメニューなど実施いたします

※ 今回の取組みは、おもてなしひとつとして熊野本宮全体で七夕の季節を向かえるにあたって、世界遺産の地「熊野本宮」にご来訪された皆様へ、導き・蘇り・癒しの熊野本宮にて願い事を短冊（次年度より音無紙を予定）にしたためて頂くものです。

熊野本宮ささまつり終了後のささ等の対応につきましては各事業者が自然の元へ還します。

※音無紙 本宮町史によると、町内の和紙作りは江戸時代の地誌「紀伊続風土記」に記述があり、高山、小津荷、小々森の集落で行われていた。熊野本宮大社の護符「牛王神符」の用紙として活用されていた伝承もある。和紙作りの再開は2005年静岡県紙すき職人が本宮町を訪問した際に、地域の和紙の歴史を知り、住民と交流が始まったことがきっかけ。伝統の産業を復活させようと、住民らが職人に研修を受けたり、独自で勉強したりして、準備を進めてきた。2007年NPO熊野本宮が中心となり和紙を復活。現在は熊野本宮大社が発行しているお札「牛王神符」の用紙として使用。

2010.7.2

この件に関する取材のお問い合わせ先

本宮町商工会 担当：高橋 亨

TEL0735-42-0269

〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮 219 本宮行政局 2F

e-mail hongu@w-shokokai.or.jp